

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 16日

事業所名 藤児童発達支援センターくれよんはうす

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10		・限られたスペースを使いやすいように活動によってレイアウトを変え工夫して使用している。	
	2 職員の配置数は適切である	10		運営設置基準にそって適切に配慮している。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10		限られたスペースの中で工夫して、集団指導の部屋と個別指導・午睡の部屋と分けている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10		・清掃と消毒を毎日徹底実施している。 ・限られた空間を活動に合わせて使用している。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	10		職員会議やミーティング（朝会、午睡時等）で職員間で周知し結果を共有している。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10		保護者の意見を真摯に受け止め、改善すべきところは全体で検討している。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10		結果を保護者に配布し、園内に掲示しホームページの情報公開の箇所等で公開している。	法人ホームページの情報公開の項目に公表しておりますが、わかりやすいように周知を工夫して参ります。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10			第三者委員会を設置し、年度末に委員会を開催予定となっております。客観的な立場での評価や意見を頂き支援や業務改善に繋げております。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10		外部講師を招いての研修やオンライン、対面研修などに参加している。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10		他の機関での検査結果等保護者から頂いている。又、遠城寺式乳幼児精神発達検査等と生活全般の発達状況票を作成し活用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10		児童発達支援ガイドラインに基づいて、各発達支援項目から選択し計画作成している。	計画作成時に、保護者の方にガイドラインについて説明をしておりますが、今後もより丁寧な支援を行って参ります。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10		一人ひとりの計画に沿った個別指導と集団での支援を個別に行っています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	10		運動遊び・音楽遊び・認知と職員が3チームに分かれてプログラムを立案している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10		様々な活動を曜日を固定せずに計画している。	認知課題・運動感覚・音楽リズム・制作・戸外活動・食育活動・社会体験活動等、様々な活動や行事を取り入れて子どもが様々なものに興味をもち取り組めるように工夫している。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10		月1回の親子個別指導と毎日の年長児の自立課題を実施している。二者の個別指導の時間にも取り組んでいる。	今後もお子さんの課題や目標にそって、個別に取り組んでまいります。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10		事前に週案で活動内容が周知され、日々朝礼ミーティング時に確認している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10		気づきや伝達をしている。シフト勤務で共有が難しい時は、翌日のミーティングで周知し共有している。	終了後や午睡時間帯に振り返りを設定しているが、全職員には翌日朝のミーティングでは情報共有し、対応へ繋げています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10		自分以外の職員から聞いた様子も記録し検証改善に繋げている。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10		半年に1回のモニタリングを実施し、その他必要に応じて実施している。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	主任又は児童発達支援管理者が参画しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10	必要に応じて連携体制が取れるようにしている。	東青地区連携協議会に関係機関と連携をとっている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			現在、該当児童がありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			現在、該当児童がありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	併行通園先に訪問し情報共有をして相互理解へ繋げている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	特別支援学校との情報の共有を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	発達障害者センターとの連携をとり、ケースの助言をもらったり研修を行っている。	今後も、他の児童発達支援センターや発達障害者センターと連携をとり助言や研修を受けながら支援の質の向上を目指してまいります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	10	同法人内のこども園の行事の交流を実施しております。	感染症等の状況により頻度は少ないですが、同法人内のこども園の行事の交流の場を設けています。今後も感染状況に留意しながら交流を進めてまいります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	10		現在は参加していませんが、要請があれば参加できる体制を整えております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	連絡帳や送迎時、月1回の面談などを通して共通理解を図っている。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	10	定期的には様々な項目(子育て、ペアレントトレーニング、就学について等)での保護者勉強会を開催している。	ペアレントトレーニングについての勉強会を開催いたしました。保護者から気づきや子どもへの対応について理解が深まったと感想をいただきました。今後とも行ってまいります。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	契約時や保護者説明会等で説明し同意を得ている。 規程は園内に掲示している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10	児童発達支援計画を説明する時に、ガイドラインに基づいた目標と支援内容とともに説明をして同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	月1回の定期的な面談や連絡帳・電話等で相談に応じている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	10	保護者勉強会の後や親子活動等で、懇談会の場を設け保護者同士の連携を図るように工夫している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	定期的な面談以外にも、随時面談場面を設定して対応している。	保護者からの相談や申し入れについては、園長・主任に伝え迅速に対応する整備がされております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	ポータルフォリオや園便りの会報を発行し子どもの様子や情報を提供している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10	保管場所に施錠するなどして十分に対応している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	子どもや保護者の想いや意見にしっかり耳を傾けるよう心がけている。	子どものこうありたいという願いや保護者の思いを受け止め、寄り添った支援や情報提供に努めている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	10	0 地域の防災・避難訓練に参加し交流している。	今後も地域の方々へ当施設の理解を得られるように避難訓練等から行って参ります。
41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10	感染症が発生した時の対応等、マニュアルが整備され対応している。		

非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	毎月、様々な災害を想定した訓練を実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	アセスメント時の確認のみでなく、服薬の変更があった時は保護者と対応の確認をしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	指示書やアレルギーに対する対応が共有整備されている。	現在アレルギーでの指示書が必要な児童がおりませんが、体制が整備されている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	ヒヤリハットのファイルにまとめ職員が見られるようにし、会議でその時期に起こりやすいことについても確認している。	ヒヤリハットの報告書を、季節や場面の事例として皆で共有し、確認している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	園内・園外研修の他に、虐待防止委員会を設置している。	研修の他、昨年度より虐待防止委員会を設置し定期的に検討し、適切な対応を共有している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10	体制整備を整えています。	